


公民館 だより

第 55 号
2021年
(令和 3 年)
3/20

発行 狛江市公民館

■ 西河原公民館
〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1
TEL/03-3480-3201
FAX/03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

■ 中央公民館
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL/03-3488-4411
FAX/03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp




↑ Web版はこちら

市制施行 50 周年記念事業として 映画会を開催しました！

令和2年10月1日に狛江市が市制施行50周年を迎えたことを記念して、令和3年1月9日（土）に吉永小百合さん・天海祐希さんが主演の「最高の人生の見つけ方」を上映しました。

上映後には「感動できて大変良かった」との感想が寄せられました。今後も新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、色々な作品を上映していきたいと思っていますので、ぜひご参加ください。



公民館からのお知らせ

「中央公民館のつどい」が今年も中止になりました。

緊急事態宣言の延長により準備ができないことから、第35回中央公民館のつどいは中止になりました。

夜間の休館

緊急事態宣言の延長を受け、令和3年2月8日から夜間の休館を行っています（3月21日までの予定）。

利用者懇談会

令和3年度の利用者懇談会の日程をお知らせします。新型コロナウイルス感染症対策のため、事前予約制で一団体につき1名の参加のご協力をお願いします。

- ◆西河原公民館
4月27日（火）午前10時～11時30分
午後7時～8時30分
- ◆中央公民館
4月28日（水）午前10時～11時30分
午後7時～8時30分

新型コロナウイルス感染症の影響で変更になる場合がございますので、ご了承ください。

*4月上旬頃、各団体の代表者へ開催通知を送付する予定です。

西河原公民館

大好評のスマホ講座が再度開催されました！

令和2年11月に行ったスマホ講座は予約開始後すぐに定員に達してしまうほど好評だったため、令和3年2月4日（木）、5日（金）、8日（月）に再度開催しました。内容は11月と同様に「もっと知りたい基礎知識」、「コミュニケーションアプリ」、「話題のアプリ（脳活・健康など）」でした。

各日午後1時30分から4時まで、先着10人の講座は今回もすぐに満員となり、関心の高さを伺い知ることができました。

参加者からは

- ・二次元コードの読み取り方が分かり、今後利用できるかもしれないと思えた。
- ・スマホは持っていてもあまり使い方がわからなかった。今日の講座は大変良かった。
- ・今までわからなかった事を色々教えてもらいました。こんな事（機能）があるんだ…と改めて感心しました。などの感想が寄せられました。



「水引でストラップを作ろう」講座

令和3年2月13日（土）午後1時30分から3時30分まで、西河原公民館学習室2で島崎蓉子さん（日本伝統工芸水引研究会会長）を講師に、水引細工の講座が開かれ、8人が参加しました。

参加者からは、「楽しく作ることができ、作品もかわいくて満足です。」「水引を使ったほかの作品にも挑戦したいです。」との感想が寄せられました。



中央公民館

初心者向け・家族で DIY 講座「ツール BOX」

令和3年1月30日（土）午後2時から4時まで、中央公民館美術工芸室で DIY 講座が開催されました。DIY 初心者の方が家族で楽しんでもらえるよう、対象を小学生以上の子ども連れの親子としました。5組11人の家族が参加し、ツール BOX を作製しました。



参加者の感想：

- ・次もやりたい、おもしろかった。
- ・日頃、家でやらない事ができてよかったです。
- ・いろいろくふうしてたのしかった。

「プロが教える！似顔絵講座」

令和3年1月17日（日）午後2時から、中央公民館講座室で「プロが教える！似顔絵講座」を開催しました。これまでに描いた似顔絵は約1万5,000人という似顔絵のプロである勝山朝日さんに似顔絵の描き方を教えていただきました。

まずは持参した写真を見ながら、顔をじっくりと観察し、パーツごとに形・大きさ・位置などの特徴を文字で表現してみました。似せるコツは「美化をしないこと」だそうです。特徴が小さい部分は単純化し、特徴が大きなものはしっかりと描くことで、その人の個性を生かすことができるということを教えていただきました。特徴を文字で表現した後は、アドバイスをもらいながら似顔絵を描きました。

今回の講座の定員は10人でしたが、すぐに予約がいっぱいになり、「もう少し別の角度から顔を観察してみて、もう一度描いてよいと思います。」「似顔絵を描いてプレゼントしたい。」「今までにない講座で面白かった。」など、好評でした。



こまえ市民大学へようこそ

こまえ市民大学は月2回程度、原則土曜日の午後15時に講座を開催しています。コロナ禍の中、ご参加いただき、ありがとうございます。

令和3年度初期は、下記の講座を予定しています（※タイトル、日程ともに予定です）。

4月17日	「石森史郎氏に師事 —テレビドラマシナリオ— シナリオ通信講座講師 三宅 直子さん
5月22日	「宇宙の扉を開こう —見て、考えて—そして— 元 JAXA 宇宙飛行士室室長 柳川 孝二さん

年の初めは 日本遺産・能楽を聴く

こまえ市民大学は毎年「新春 日本の芸能」を開催し、10年目を迎えました。今年は重要無形文化財総合指定保持者で文化庁日本遺産大使でもあります、大倉流大鼓（おおつづみ）の大倉正之助さんと森田流笛の熊本俊太郎さんによる能楽「新春 寿ぎ松囃子と言祝ぎのお話」を開催することができました。

能楽は聖徳太子の側近、秦河勝（はたのかわかつ）により原型が出来、その後約1400年、伝統は連綿と今日に繋がっています。日本遺産・能楽の歴史や楽器の説明等の話は興味深いものでした。

演目について解説の後に演奏に入りました。大鼓と笛の澄んだ音色、鋭く空気を震わす音色、合間の力強いかけ声。あらずしが分かっていると情景が浮かぶようでした。格調高い演奏に、参加された皆様も魅了されていました。

市民大学では、令和3年度も魅力的な講座を企画していきますので、広報等をご覧になり、ぜひ参加してみてください。コロナ対策をきちんと行い、皆様をお迎えいたします。

市民大学運営委員会委員長 高橋 公子

公運審だより

令和2年度第6回定例会（12月14日）

いよいよ今期の諮問「狛江市公民館事業の評価のあり方について」に対する答申のために、具体的な「公民館事業評価シート」が形となりました。前回の審議で検討された内容を盛り込み、公民館事業を大きく3つ、「学び」、「コミュニケーション」、「余暇（エンターテインメント）」に分類し、評価シートも3種類用意することとなりました。今回、それぞれ「親子天文教室」、「成人学習事業 連続講座 居場所というアポリア」、「第23回西河原クリスマスコンサート」を例にとり委員で評価シートにそって評価してみました。運用に問題がないことを確認しました。評価は公民館、公運審がそれぞれ行います。できるかぎり公運審委員も事業を見学することが望ましいと思われれます。来年度から使用する場合、すべての事業に対して評価を行うことは負担が大きいので、年間5〜7事業程度を対象とし、丁寧に評価をしていくこととしました。

第7回定例会（2月15日）

新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が再度発令され、1月18

日に予定していた公運審は中止となりました。さらに宣言が延長されている中ですが、この日は会議時間を午後6時30分〜7時30分として公運審を開催しました。

今回の答申にあたっては、評価内容・運用方法を簡素化して、評価者の負担にならず長期的に継続できる事業評価とすることを目標にしました。その検討の結果、次のようにとりまとめ、「事業評価シート」を作成しました。

評価項目は、各事業に共通のものとして「周知・環境・満足度・達成度」の4項目とし、事業の性質ごとに異なる部分を評価するために「独自評価項目」を加えることとしました。これらの項目について、評価視点・理由を記載した上で評価を行います。評価基準は、狛江市の各種計画等における統一的なものとして設けられているA〜Dの4段階評価を準用しました。

評価は公民館と公運審がそれぞれ行い、その上で話し合って最終評価を決定します。また、職員が携わって感じたことや参加者アンケートをふまえた「今後の課題」及び、公運審による「総合評価」の記入欄を設けました。

今後、毎年事業評価を行い、4年間で公民館の全事業を評価する予定です。その過程で、新たな手法の発見があれば取り入れて、評価のあり方を充実させていくことが望まれます（答申書は、公民館のホームページに掲載されます）。